

環境活動レポート

2009 年度

- 1.環境方針
- 2.事業所の概要
- 3.実施体制
- 4.環境目標とその実績
- 5.主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価及び目標
- 6.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

【作成日 2010 年 5 月 11 日】

1. 環境方針

株式会社 三進社

〈基本理念〉

当社は印刷事業を通じ、企画から顧客の手元に渡るまでのあらゆる段階において、環境に与える負荷の軽減に努めます。地球環境の保全のために、以下の方針を定め、環境を重視した企業活動を行います。

〈行動指針〉

1. エコアクション 21 に基づく環境マネジメントシステムを構築運用し、積極的に環境への負荷の軽減を目指します。
2. 環境に関わる法令、条例、規制、協定を遵守し、顧客の要求事項を明確にし、環境保全活動の継続的な向上をはかります。
3. 環境方針に基づいた環境マネジメントシステムを確立し、環境目標、行動計画を設定し、必要に応じて見直しを行います。
4. 環境負荷を軽減するために次の活動を積極的に進めます。
 - ① 二酸化炭素総排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物の分別によるリサイクル化の推進及び廃棄物の削減を図ります。
 - ③ 水資源の節約に努めます。
5. この環境方針は全ての役員従業員に周知徹底し、社員教育を実施すると共に啓蒙活動を推進して、環境保全型企業を目指します。

平成 21 年 3 月 2 日
株式会社 三進社
代表取締役 高倉三夫

2. 事業所の概要

事業所名

株式会社 三進社
代表取締役 高倉三夫

所在地

本 社 東京都品川区西五反田 4 丁目 28 番 13 号
本社経理 東京都品川区西五反田 5 丁目 26 番 3 号 レジディア不動前 201
営業本部 東京都江東区木場 5 丁目 11 番 13 号 木場公園ビル 6F
木場工場 東京都江東区木場 6 丁目 6 番 3 号
尾久工場 東京都荒川区西尾久 8 丁目 32 番 4 号
業平工場 東京都墨田区業平 1 丁目 1 番 9 号

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 青木秀樹
連絡先 電話:03-5617-3556 FAX:03-5617-3551
環境事務局 渡辺武雄 富樫裕子

事業内容

総合印刷

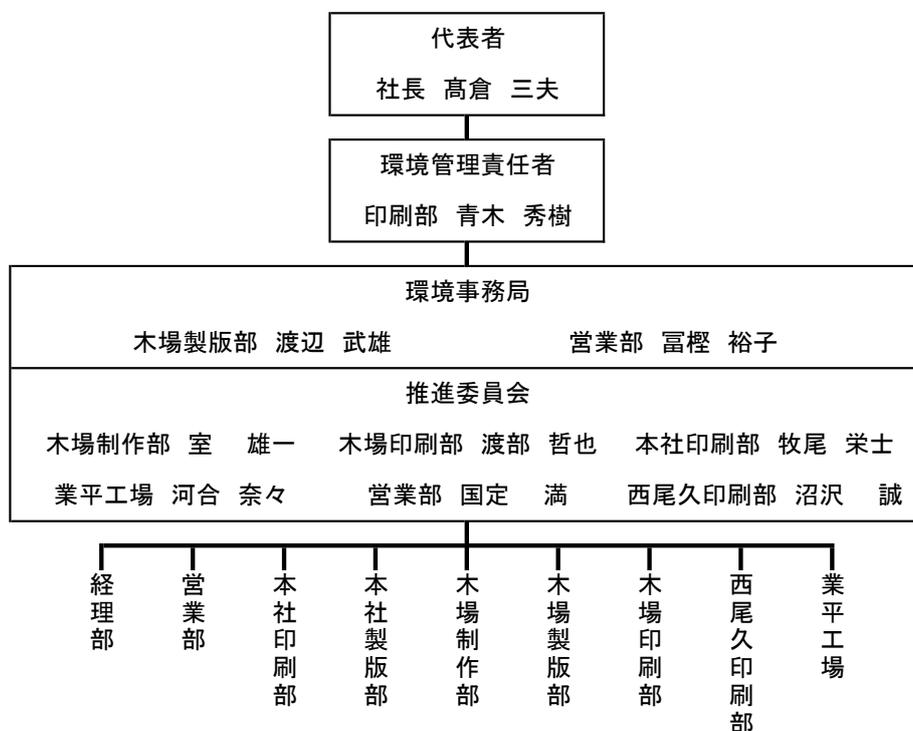
事業規模

年間売上高	1542 百万円
従業員数	94 人
延床面積	2635 m ²

3. 実施体制

作成日：2009年3月2日

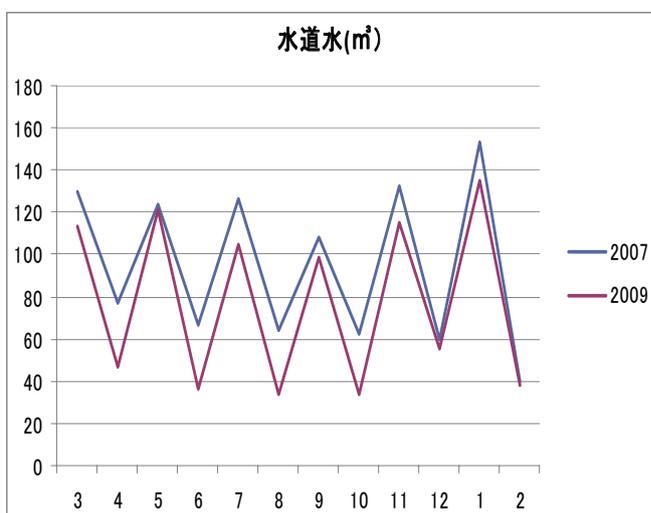
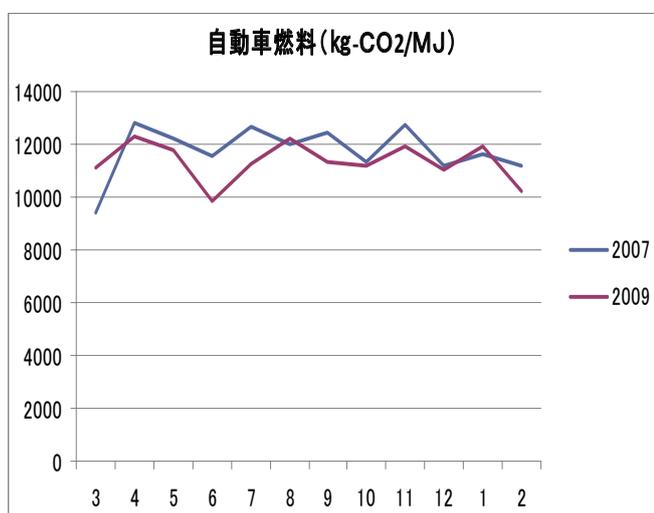
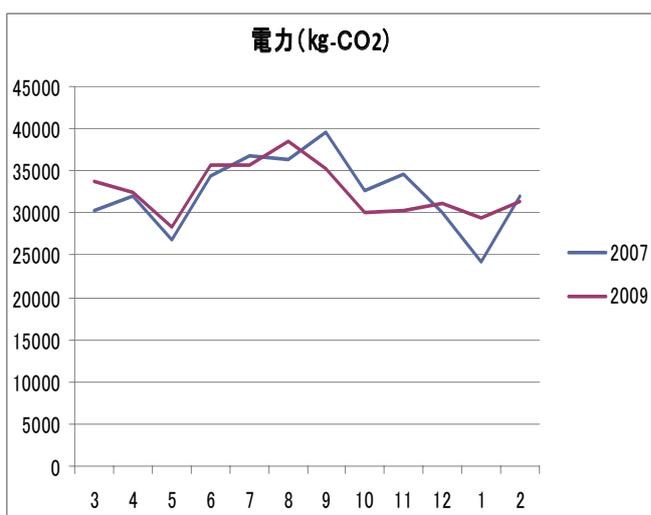
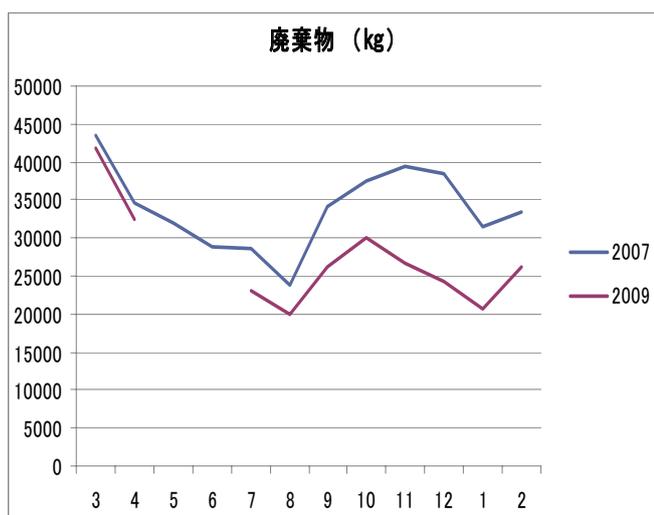
株式会社三進社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
推進委員会	自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境目標とその実績（全社合計）

環境目標	基準年度 (2007 年度)	2009 年度目標	2009 年度実績	達成状況
電力の削減(kg-CO ₂)	389,916	389,916	392,006	100.5%
自動車燃料の削減(kg-CO ₂ /MJ)	141,391	138,563	136,073	98.2%
廃棄物の削減(kg)	405,534	486,640	* 293,489	60.3%
水道水の削減(m ³)	1,144	915	932	101.8%



※2009 年度 5・6 月の廃棄物量の詳細は不明のため未記載

5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価及び目標

【電 力】 不要照明の消灯
ステッカーの掲示

《評価》

使用量増加の主な要因は、印刷機械の入替及び新設・増床
目標達成の為に他の事業所も具体的な見直しが必要である

《2010 年度目標》

384,165 kg-CO₂(基準年度 98%)

【自動車燃料】 アイドリングストップ
急加速・急停車の防止

《評価》

燃費シートを作成し、日々の走行に燃費を認識してもらうことから開始
効率的な運転の推進をはかり、営業車の削減率 5.2%を達成
配送車両も省エネ運転を実施

《2010 年度目標》

130,630 kg-CO₂/MJ(基準年度 96%)

【廃棄物】 分別による古紙のリサイクル化
マイカップ運動の推進
両面コピー・プリントの推進

《評価》

第一に廃棄物発生抑制を心がけ、再生装置の導入も検討
廃棄物の分類も定着し、リサイクルの意識も高まっている
損紙回収業者を変更したことにより、重量も明確になった

(2009 年 5・6 月の廃棄物重量の詳細は不明の為、10カ月の集計)

《2010 年度目標》

346,317 kg(基準年度 118%)

【節水】

節水の呼びかけ

ステッカーの掲示

《評価》

使用量減少の主な要因は、印刷機械の入れ替えに因る

更に、節水の意識付けの成果もあり、目標達成

《2010 年度目標》

745 m³(基準年度 80%)

【全 体】

2009 年よりLED-UV印刷機が本格稼働。省エネルギー、環境負荷低減且つオゾン発生もないので、環境にやさしい印刷が可能となった

ISO、5S 活動により、職場環境の美化・コスト軽減・社員のモラル向上を推進

しかし全体的に、個人の環境への意識が十分に高いとは言えない

意識向上の為には、事業所ごとに活動計画を話し合いで設定し、それによって

現れた成果をフィードバックし、更に話し合いを…といった流れが必要不可

欠だと痛感。その為には、環境経営システムを充実させていくことが第一の課

題である

【基準年度の変更】

受注量の変化・設備の入替・増設及び損紙回収業者の変更等を考慮し、2010 年より基準年度を 2007 年度から、2009 年度に変更予定

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき確認しましたが、違反状況はありませんでした。また訴訟、苦情及び関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。